

肝臓は、代謝、解毒、胆汁の生成、免疫など、生命維持に重要な働きをします。肝臓機能障害者は、いろいろな原因によって肝臓の機能が低下した状態の方です。肝臓の機能が低下すると、倦怠感（だるさ）、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、浮腫（むくみ）、出血傾向（あざがでしやすい）、易感染性、食道・胃の静脈瘤破裂による吐血、意識障害などが生じやすくなります。

肝臓の機能が著しく低下した状態を肝不全といい、生命の維持が困難になる場合もあります。肝不全の人の中には、肝臓移植術を受けている方もいます。移植術を受けた人は拒絶反応を予防するために、免疫抑制薬を服用します。

- （１）毎日の食事管理が大切です。過食、特に蛋白質の取りすぎは意識障害を引き起こす要因となります。また、塩分を取りすぎると、むくみを増悪させます。アルコールや症状を増悪させる食べ物を無理にすすめないようにしましょう。
- （２）日常生活では、意識障害を引き起こす要因になる便秘、下痢、発熱、感染等に対する注意が必要です。感染の予防として、手洗いを励行し、風邪をひいているときはマスクを使用し、できるだけ接触はさけてください。
- （３）吐血や意識障害を起こしたときは、静かに側臥位（右または左を下にして寝た状態）をとり、血液がのどにつまらないように注意し、できるだけ早く救急車を手配して医療機関を受診するようにしてください。